

# 明日の保育につなげる

—指導の改善に生かす「評価シート」—

国立大学法人 東京学芸大学附属幼稚園  
協力：全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会



何でこの場面が  
気になったのかな？

どうしてAちゃんは、  
あんな様子だったの？

あ言葉で  
良かったのかな？

こんなふうにも  
関わられたかも…

明日はこんなふう  
にやってみようかなあ…

いつもの振り返りで考えていることを  
もう少しゆっくり考えてみよう…

評価につなげるはじめての一步！  
さあ、ページを開いてみましょう

# いつもの振り返りが評価につながります！

～記録を生かして手順を進めると自分の指導を評価できます～

STEP  
1

エピソード記録  
を書く

記録を書きましょう！

楽しそうだった遊びのこと、  
困ってしまったこと、  
心に残っていることなど、  
書いてみましょう。

STEP  
2

幼児の体験  
を捉える

幼児のしていたことの  
意味を考えましょう！

楽しさを感じていたのはどこか、  
友達とどう関わっていたのか、  
何に関心をもっていたかなど、  
考えてみましょう。

STEP  
3

教師の指導  
について評価する

自分の指導の  
意味を考えましょう！

どのような思いで関わったのか、  
どんなふうに関わりたかったのか、  
なぜ、それを用意したのかなど、  
考えてみましょう。

STEP  
4

気づきや改善点  
について考える

明日の指導を  
考えましょう！

環境の構成・教材・教師の関わり  
などについて、明日につながるように、  
改善点等を考えてみましょう。

Memo

この方法は「評価シート2020」でできます。詳しくは、活用ガイドをお読みください。

# 「評価シート2020」を使った先生たちから

## 担任の先生の声

手掛かりの項目から近いものを選ぶ方法で時間をかけずにできました。



自分がどうしたかったかを振り返ることができて、次にしたいこともはっきり考えられました。



手掛かりがあることで、自分がしたことをいろいろな視点から考えたり、明日の実践のヒントが得られたりしました。

一つずつ進めていくことで評価が身近に感じられました。



## 園長先生などの声

手掛かりがあることで、自身の指導を評価しやすかったようです。次週の計画作成にもつながると感じました。



改善点を考える枠があることで、明日の保育にすぐ生かすことができているようです。

先生同士の話し合いに使うことで、多様な視点から指導の改善を行え、幼児教育の質向上にもつながると感じました。



いつもの振り返りを少し丁寧にするだけで、  
幼児と一緒に過ごす明日がもっと楽しみにになります

# ～幼児教育の質向上に向けて大切なこと～

今、幼児教育の質向上が課題となっています。

幼児教育の質向上には、教員が力をつける必要があります。

遊びや生活の中で幼児を理解すること、幼児の変容を環境の構成や指導との関係から検討すること、実践をよりよいものに改善していくこと、そのような力が求められています。その力は、教員同士が学び合う園全体の雰囲気や風土の中で培われます。まずは、指導を振り返る時間を確保してみてください。そして、書いたものを持ち寄り、語り合う場をつくってみてください。多様な考えに出会うことで、教育観が磨かれます。自分の指導を見直し改善への手掛かりを得ることができます。

少しの時間から始めてみませんか。

全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会 会長 神永 直美

2020年度文部科学省委託研究  
幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究

明日の保育につなげる  
—指導の改善に生かす「評価シート」—

本リーフレットの活用に当たっては、合わせて「活用ガイド」及び「報告書」をご参照ください。  
なお、本リーフレット及び「活用ガイド」「報告書」は、文部科学省HPよりダウンロードできます。

国立大学法人 東京学芸大学

国立大学法人 東京学芸大学附属幼稚園  
協力団体：全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会

このリーフレットは、文部科学省の「幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究（幼稚園における学校評価に関する調査研究）」の委託費による委託業務として東京学芸大学が実施した、令和2年度幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究の成果を取りまとめたものです。したがって、本リーフレット及び「活用ガイド」「報告書」の複製、転載、引用等には文部科学省の承諾が必要です。